

家庭ごみ有料化の検証

岡谷市 市民環境部 環境課

令和2(2020)年度

家庭ごみ有料化の検証

1. 岡谷市のごみ処理

- ・ごみ処理の変遷
- ・現在のごみ処理

2. 家庭ごみ有料化

- ・有料化の内容
- ・ごみ減量施策

3. 有料化の検証

- ・検証の目的
- ・検証の方法

4. 検証

- ①ごみ減量の状況
ごみ排出量の推移
- ②ごみから資源へ
資源物の分別収集の状況
- ③正しい分別の徹底
ごみ・資源物違反排出の状況
- ④ごみ処理の費用
ごみ処理費用と手数料収入の状況

5. まとめ

1. 岡谷市のごみ処理

• ごみ処理の変遷 ①

— 可燃物（現 燃やすごみ）、不燃物（現 埋立ごみ）収集のはじまり —
かつては 各戸収集（家々を回りリアカーなどで）、現 諏訪湖ハイツ付近で野焼き

『可燃物』のみを収集・処理

昭和41年 定位置・定日収集（決まった場所で週2回） 開始

ごみ処理手数料 【有料】 （ポリ容器 45リットル）

昭和43年 岡谷市清掃工場 稼動

昭和44年 『不燃物』収集 開始

昭和46年 ポリ容器から紙袋またはカルパック製※袋に変更

ごみ処理手数料 【無料】

※炭酸カルシウム入高密度ポリエチレン製

1. 岡谷市のごみ処理

• ごみ処理の変遷 ②

— 「物を大切にする市民運動」から資源物回収へ —

- | | | |
|-------|---------------------------------|---|
| 昭和53年 | 物を大切に
する市民運動
推進会議 | 発足 |
| 昭和54年 | 資源物回収
モデル地区
(間下区・
下浜区) | 開始
回収品目『 空き缶・
金属・古紙類・
古布類・生きびん 』 |
| 昭和56年 | 資源物回収
全市域 | 開始
不燃物収集を
民間委託(2
コース)
樋沢最終処分
場(埋立地) 供
用開始 |
| 平成5年 | 指定ごみ袋の
導入 | 可燃物・不燃物
22・45リットル
ごみ処理手数料
【無料】 |

1. 岡谷市のごみ処理

• ごみ処理の変遷 ③

— 収集業務の民間委託化・資源物のリサイクルを次々と開始 —

平成 9 年 可燃物収集すべてを民間委託（6コース）

『金属・アルミ缶・スチール缶』の分別収集 開始

平成 11 年 『びん類（ワンウェイびん）』の分別収集 開始

平成 12 年 『乾電池』リサイクル 開始（不燃物収集）

『ペットボトル・白トレイ』の分別収集 開始

平成 15 年 資源物サンデーリサイクルデー 開始 毎月最終日曜日イベント回収)

平成 16 年 『蛍光管・電球』の分別収集 開始

小中学校の『生ごみ』リサイクル 開始

1. 岡谷市のごみ処理

• ごみ処理の変遷 ④

— 家庭ごみ有料化と生ごみ・その他プラスチックのリサイクルへ —

平成18年 家庭の『生ごみ』リサイクル モデル事業（下浜・新屋敷・鮎沢区）

平成20年 「家庭ごみ有料化」の提言（環境市民会議おかや）～決定

平成21年 家庭の『生ごみ』リサイクル 市内全地区で開始

市内全地区などで「家庭ごみ有料化」の説明会を開催 140回

平成22年 家庭ごみ有料化の開始

『その他プラスチック』の分別収集 開始

平成28年 諏訪湖周クリーンセンター（焼却施設）稼働開始

（岡谷市・諏訪市・下諏訪町の燃やすごみを共同で処理）

埋立処分場

岡谷市樋沢
一般廃棄物
最終処分場



ごみ処理施設

旧 岡谷市清掃工場

(平成25年度に解体)

焼却施設

諏訪湖周クリーンセンター

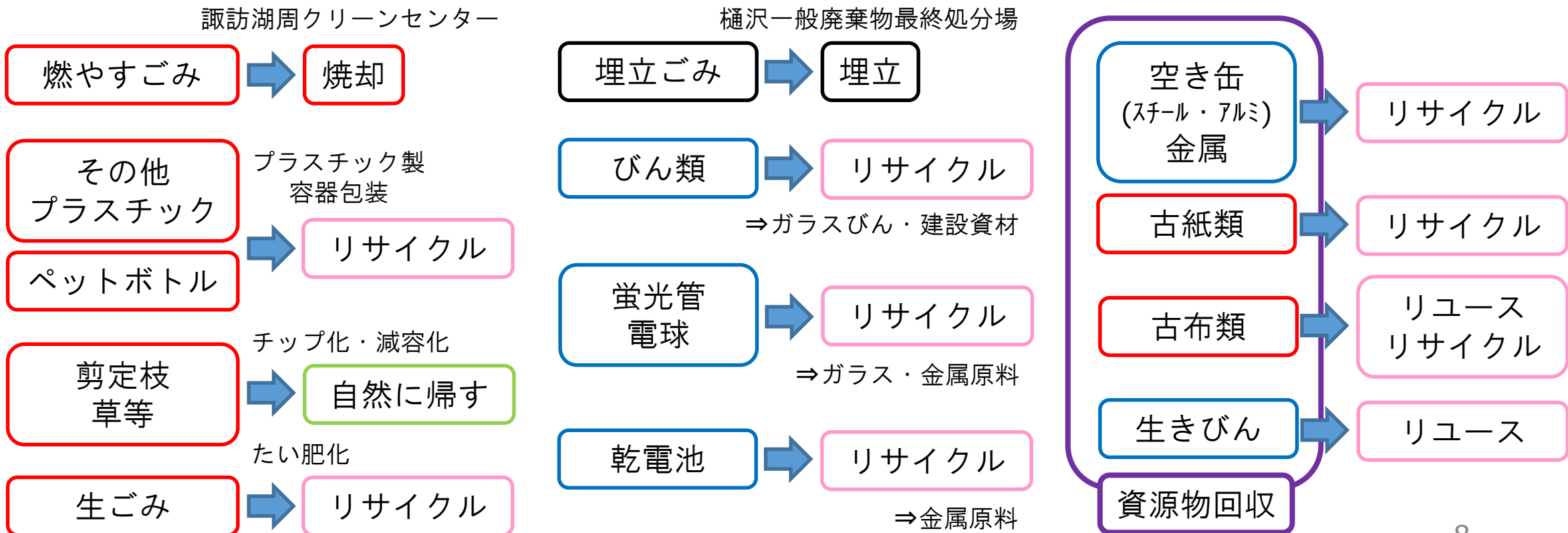
(平成28年度から稼動)



1. 岡谷市のごみ処理

・現在のごみ処理 ①

ごみ・資源物の処理 フロー (令和2年度)



「資源物回収」とは
 空き缶・古紙類などの集団回収が
 住民運動から全市域へと広がり、
 資源物回収業者が、ごみ収集場所
 で決まった曜日に回収している。
 回収物はリサイクルなどされる。

1. 岡谷市のごみ処理

・現在のごみ処理 ②

市で収集・処理しているごみ・資源物

可燃物＝燃やすごみ 不燃物＝埋立ごみ

ごみ処理手数料 有料

ごみ処理 手数料	種類	排出・収集方法	処理方法
有料	燃やすごみ	定日 [週2回] 定位置収集	諏訪湖周クリーンセンター（焼却施設）で焼却 焼却灰は、再資源化・埋立処分（民間委託）
	埋立ごみ	定日 [月1回] 定位置収集	岡谷市樋沢一般廃棄物最終処分場（埋立地）へ 埋立処分

注）排出方法は、上記のほか市指定場所（持込場所）へ搬入することができる。

燃やすごみ：諏訪湖周クリーンセンター 埋立ごみ：(株)アイ・コーポレーション（市委託）

1回に出せる量は剪定枝・草・落ち葉合わせて2袋までです。(枝木の1束は1袋分)

燃やすごみ

有料指定袋 **燃えるごみ** と記載された袋も使えます

有料 **必ず記名**

汚れたプラ
プラスチック製品 (金物をはずして)

汚れた紙
金物をはずして

木製製品を壊した板 (釘などの金物は必ずはずす)

灰

プラスチック製かみそり
使い捨てカイロ
魔法瓶 (内側がガラスのもの)
ライター

ガラスくず・植木鉢・陶器くず・耐熱ガラス

アルミ箱

乳白色のびん
陶器のびん

インスタントのアルミ鍋

汚物を取り除く
レシートなどの感熱紙

**剪定枝・草
落ち葉**

無料

指定袋 **必ず記名**

草・落ち葉
氏名

太さ 10cm以下
直径 30cm
60cm
荷札などに氏名を書いて出す。

乾燥させて、他プラ指定袋に入れて出す。(45ℓ以下の透明袋でも可)

埋立ごみ

有料指定袋 **燃えないごみ** と記載された袋も使えます

有料 **必ず記名**

プラスチック製かみそり
使い捨てカイロ
魔法瓶 (内側がガラスのもの)
ライター

ガラスくず・植木鉢・陶器くず・耐熱ガラス

アルミ箱

乳白色のびん
陶器のびん

インスタントのアルミ鍋

灰

「家庭ごみ収集カレンダー」 燃やすごみ・埋立ごみ

4月	5月	6月
1 水 埋 缶	1 金 プ	1 月 燃
2 木 燃 生	2 土 P	2 火 古
3 金 プ	3 日 憲法記念日	3 水 埋 缶
4 土 P	4 月 燃	4 木 燃 生
5 日	5 火 古	5 金 プ
6 月 燃	6 水 埋 缶	6 土 P
7 火 古	7 木 燃 生	7 日
8 水 蛍 び	8 金 プ	8 月 燃
9 木 燃 生	9 土 P	9 火 古

表示	種類
燃	燃やすごみ
古	古紙・古着・古布
生	生ごみ
埋	埋立ごみ
乾	乾電池・光電池 ボタン電池
缶	アルミ缶・スチール缶 金属類
び	ガラスびん・生きびん
蛍	蛍光管・電球
プ	その他プラスチック
P	PETボトル
会	会場

1. 岡谷市のごみ処理

・現在のごみ処理 ③

資源物 ①

資源物回収

ごみ処理 手数料	種類	排出・収集方法	処理方法
無料	空き缶 (スチール ・アルミ) 金属	定日 [月2回] 定位置収集 (資源物回収)	資源物回収業者から再資源化事業者へ引渡し (リサイクル 民間ルート)
	古紙類		
	古布類		
	生きびん		資源物回収業者から再利用する事業者へ引渡し (リユース)

濡れてしまうとリサイクルできません！雨、雪が降っている日・降りそうな日は出さないでください。

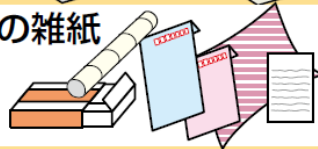
古紙



種類ごとに縛って出す。

紙パックはよく乾かして出す。

その他の雑紙



「古紙」と書いた紙袋かダンボールに入れて出す。*感熱紙以外

古着・古布



縛るか他プラ指定袋に入れて出す。(45ℓ以下の透明袋でも可)

ボタン等は取らなくてもよい



対象外



カーテンや汚れているものは、金具を外して、「燃やすごみ」に出す。

「家庭ごみ収集カレンダー」
空き缶（スチール・アルミ）・金属・古紙類・古布類・生きびん

アルミ缶

このマークが目印です。

他プラ指定袋に入れて出す。(45ℓ以下の透明袋でも可)

缶は潰してもOK

スチール缶

このマークが目印です。

他プラ指定袋に入れて出す。(45ℓ以下の透明袋でも可)

金属類

さびた金属でもOK

他プラ指定袋に入れて出す。(45ℓ以下の透明袋でも可)

ホーローなべもOK

ビニール布は取る

はりがね・パイプ

スプレー缶は使い切るか火気のない風通しの良い屋外で適切に出し切ったあと穴をあける。

金属製のふた

コード類

生きびん

コンテナに入れないで横に置く

一升びんは色に関わらず生きびんです。

4月		5月		6月	
1 水	埋 缶	1 金	プ	1 月	燃
2 木	燃 生	2 土	P	2 火	古
3 金	プ	3 日	憲法記念日	3 水	埋 缶
4 土	P	4 月	燃	4 木	燃 生
5 日		5 火	古	5 金	プ
6 月	燃	6 水	埋 缶	6 土	P
7 火	古	7 木	燃 生	7 日	
8 水	缶 び	8 金	プ	8 月	燃
9 木	燃 生	9 土		9 火	

表示	種類
燃	燃やすごみ
古	古紙・古着・古布
生	生ごみ
埋	埋立ごみ
乾	乾電池・充電電池 ボタン電池
缶	アルミ缶・スチール缶 金属類
び	ガラスびん・生きびん
缶	缶元管・電球
プ	その他プラスチック
P	PETボトル
台	台

1. 岡谷市のごみ処理

• 現在のごみ処理 ④

資源物 ②

ごみ処理 手数料	種類	排出・収集方法	処理方法
無料	びん類	定日 [月2回] 定位置収集	市委託収集 ⇒ 再資源化事業者へ引渡し (リサイクル 民間ルート)
	蛍光管 電球	定日 [月1回] 定位置収集	
	乾電池	定日 [年2回] 定位置収集	

ガラスびん

透明びん

化粧品のびんでまわりに色が付いているものは「その他のびん」へ入れてください。

茶色びん

その他びん

乳白色のびん、陶器のびん、割れたびん類は「埋立ごみ」へ。

蛍光管・電球

割れた蛍光管は「埋立ごみ」へ

購入時の箱に入れるか紙に包んで回収コンテナへ

店頭回収(営業日・営業時間内)

ケーヨーデイツー岡谷店
カーマホームセンター岡谷店
プラスワン岡谷店

乾電池

透明な袋に名前を書いて

電池氏名

ボタン電池

充電電池

(接点に絶縁テープを貼ってください)

アルカリ

マンガン

7月			8月			9月		
1	水	燃	1	土	燃	1	火	び 蛍
2	木		2	日		2	水	燃
3	金	生 プ	3	月	古	3	木	
4	土	燃	4	火	生 び 蛍	4	金	生 プ
5	日		5	水	燃	5	土	燃
6	月	古	6	木		6	日	
7	火	生 び 蛍	7	金	生 プ	7	月	古
8	水	燃	8	土	燃	8	火	乾

「家庭ごみ
収集カレンダー」

びん類
蛍光管・電球
乾電池

表示	種類
燃	燃やすごみ
古	古紙・古着・古布
生	生ごみ
埋	埋立ごみ
乾	乾電池・充電電池 ボタン電池
缶	アルミ缶・スチール缶 金属類
び	ガラスびん・生びん
蛍	蛍光管・電球
P	PETボトル
フ	その他プラスチック
○	会場

1. 岡谷市のごみ処理

• 現在のごみ処理 ⑤

資源物 ③

ごみ処理 手数料	種類	排出・収集方法	処理方法
無料	プラスチック 製容器包装 その他 プラスチック	定日 [週2回] 定位置収集	市委託収集 ⇒ 再資源化事業者へ引渡し (リサイクル 容リ協※ルート) ※公益社団法人 日本容器包装リサイクル協会
	プラスチック 製容器包装 ペットボトル	定日 [月1回] 定位置収集 又は 随時収集 店頭など	

このマークが目印です。

その他プラスチック

※硬質プラスチックは、サンデーリサイクルデーにて試験回収を実施しています。



マークのないものや硬質プラスチック製品は、「燃やすごみ」に出すマークがあってもハンガーとPPバンドは「燃やすごみ」に出す

※トレーはプラとしても出せますが店頭回収している店舗がありますのでご協力ください。(PETボトルの欄参照)

- 中身を使い切り、水などですすぐか、汚れをふき取りきれいにし出す。困難な場合は燃やすごみへ
- 二重袋は禁止です。

PETボトル

このマークが目印です。



ラベルとキャップは その他プラスチックへ

店頭回収 (営業日・営業時間内)

スーパー等	★レイクウォーク	★岡谷生鮮市場	市施設	湊公民館
	★イルフプラザ	JA信州諏訪湊支所		川岸公民館
	★西友岡谷北店	JA信州諏訪今井営業所		長地公民館
	★西友岡谷南店			勤労青少年ホーム
	★オギノ岡谷店			

★印のお店はトレーの回収も行っています

「家庭ごみ収集カレンダー」 その他プラスチック・PETボトル (ペットボトル)

4月	5月	6月
1 水 埋缶	1 金 プ	1 月 燃
2 木 燃生	2 土 P	2 火 古
3 金 プ	3 日 憲法記念日	3 水 埋缶
4 土 P	4 月 燃	4 木 燃生
5 日	5 火 古	5 金 プ
6 月 燃	6 水 埋缶	6 土 P
7 火 古	7 木 燃生	7 日
8 水 蚩び	8 金 プ	8 月 燃

表示	種類
燃	燃やすごみ
古	古紙・古着・古布
生	生ごみ
埋	埋立ごみ
乾	乾電池・充電電池 ボタン電池
缶	アルミ缶・スチール缶 金属類
び	ガラスびん・生きびん
蚩	蛍光灯・電球
プ	その他プラスチック
P	PETボトル

1. 岡谷市のごみ処理

・現在のごみ処理 ⑥

資源物 ④

ごみ処理 手数料	種類	排出・収集方法	処理方法
無料	剪定枝	市指定場所* (持込場所) へ搬入する *収集場所へ出した 場合、燃やすごみ	市委託持込場所受付 ⇒ 自然へ帰す処理 枝：チップ化 草：減容化（乾燥など） 持込場所：(株)アイ・コーポレーション（市委託）
	草等		
	生ごみ	定日 [週1回] 定位置収集	市委託収集 ⇒ 市委託再資源化 [たい肥化] (リサイクル 民間事業)

剪定枝・草
落ち葉
無料

乾燥させて、他プラ指定袋に入れて出す。(45ℓ以下の透明袋でも可)
荷札などに氏名を書いて出す。

生ごみ
水をよく切り、生ごみだけを指定袋に入れてください。

生ごみが出ないように食べることがいちばん!

生ごみだけを分別
水をよく切り指定袋へ (ネット等はいれない)
生ごみ回収袋がある定位置へ

必ず記名

自家処理にご協力をお願いします

4月			5月			6月		
1	水	埋缶	1	金	プ	1	月	燃
2	木	燃生	2	土	P	2	火	古
3	金	プ	3	日	憲法記念日	3	水	埋缶
4	土	P	4	月	燃	4	木	燃生
5	日		5	火	古	5	金	プ
6	月	燃	6	水	埋缶	6	土	P
7	火	古	7	木	燃生	7	日	
8	水	蛭び	8	金	プ	8	月	燃
9	木	燃生	9	土		9	火	

種類	
燃	燃やすごみ
生	生ごみ
埋	埋立ごみ
乾	乾電池・充電電池 ボタン電池
缶	アルミ缶・スチール缶 金属類
び	ガラスびん・生きびん
蛭	蛭光管・電球
プ	その他プラスチック
P	PETボトル
会	会

「家庭ごみ
収集カレンダー」

剪定枝・草落ち葉
(燃やすごみとして
出す場合)
生ごみ

1. 岡谷市のごみ処理

・現在のごみ処理 ⑦

市で収集・処理をしないごみ

種類	ごみの例	排出方法
処理困難物	小型家電、タイヤ類、燃料類 など	販売店等へ引取りを依頼する 一般廃棄物処理業者へ依頼する
家電リサイクル法 対象製品	エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機	指定引取場所※へ持込む 販売店等へ引取りを依頼する 一般廃棄物処理業者へ依頼する
産業廃棄物	農業用器具機材、建設・建築資材 など	産業廃棄物処理業者へ依頼する

※指定引取場所＝家電リサイクル法の指定を受けた事業者（近隣では林金属工業(株)[岡谷市]）

そのほかにも、粗大ごみ、医療廃棄物、事業所のせん定枝 など

処理困難物

専門業者へ処理を依頼してください

※処理料金は、専門業者へ直接ご確認ください(広告参照)

指定電化製品

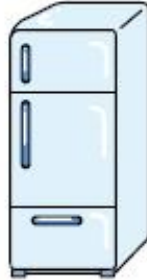
テレビ



エアコン(室外機含む)



衣類乾燥機



冷蔵庫
冷凍庫



洗濯機

その他

樹脂製波板



灯油・オイル



建築廃材



畳



ブロック



土(砂)



石

市で
収集・処理を
しないごみ

専門業者に処理を依頼『有料』

「リサイクルステーション開設」
いつでもお持ち下さい

「粗大ゴミや不用品は弊社へお任せください」

㈱アイコーポレーション 電話 0120-54-1656
〒334-0304 岡谷市神明町4-1-0-1 URL www.aicor.com/

リサイクル資源
資源物の収集運搬はお任せください

有限会社
五十川昇一商店

岡谷市神明町二丁目7番5号
TEL 0266-22-4092

リサイクル事業に真摯に取り組みます

■お見積りは無料です。安全・安心・丁寧・秘密厳守!
■お引き取りに向います。
■お見積りにお電話下さい。

ISO 9001 品質保証
ISO 27001 情報セキュリティ

再生資源回収業 (有)成山商店

〒22-2867

岡谷市川原東5-2-19 http://www.nari-sho.co.jp

不用品お任せ下さい!! お持ち込みも承ります。AM7:00~PM5:00

CleanWaste

㈱クリーンウェイスト

〒380-0001 下諏訪町2286-1
TEL 0266-28-7328 FAX 0266-27-2250

資源企業 信州ペット産業
〒354-0404 三好町1-1-1 TEL 0264-499408

紙のリサイクル

段ボール・新聞・雑誌・ボール紙・チラシ・カタログ
書籍・伝票・オフィス古紙・牛乳パック・紙パック
事業所古紙・製菓紙・製糖紙・シュレッダー古紙・製紙
製古紙処理・製糖文庫紙処理

天電商事有限会社
スワ資源流通センター

本社 〒334-0812 下諏訪町西町4789
TEL 0266-28-1522 FAX 28-0282
古紙リサイクルセンター 24時間・365日受付
岡谷市神明町3-19-2 TEL 0120-537135

粗大ゴミおまかせ下さい!!

- お持込みは、月～土曜日…午前8時～午後5時
日曜日…午前9時～正午
- 家電リサイクル4品目指定取引場所
- 回収依頼はお電話ください。見積り無料!

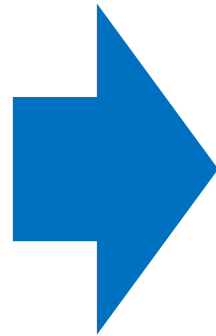
ISO14001 認定取替 林金属工業(株)

岡谷市神明町3-19-2 0120-537135
ゴミファイナリティ

2. 家庭ごみ有料化

- 有料化の内容 ① 有料化の目的

有料化の目的



焼却コスト増加！
埋立地がいっぱい！
未来の環境を守りたい！

ごみ**減量**

3 R 推進

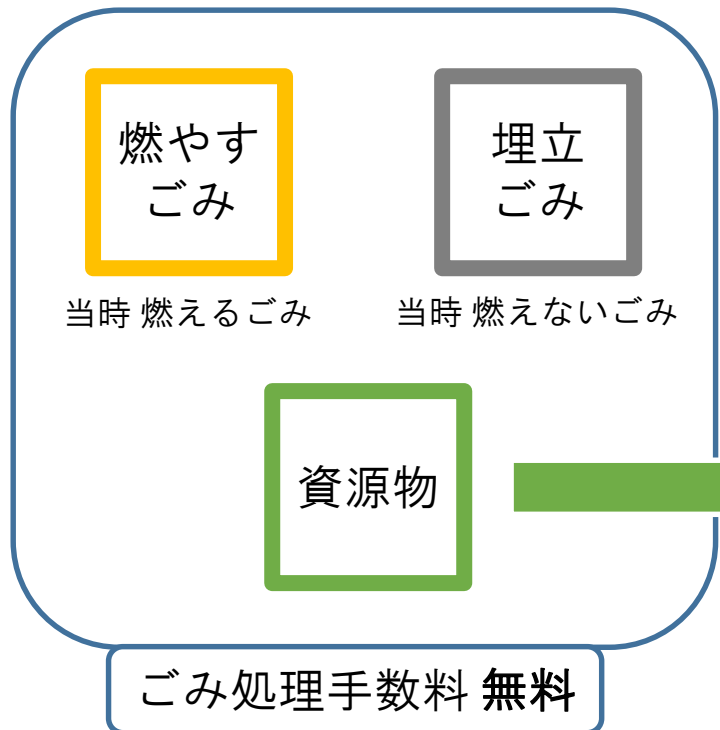
3 R
リデュース（発生抑制）
リユース（再使用）
リサイクル（再生利用）

- ◆ごみの発生抑制とリサイクルなどの推進
- ◆排出量に応じた負担の公平化
- ◆環境やごみに対する意識

2. 家庭ごみ有料化

・有料化の内容 ② 有料化の対象

- 有料化前は -

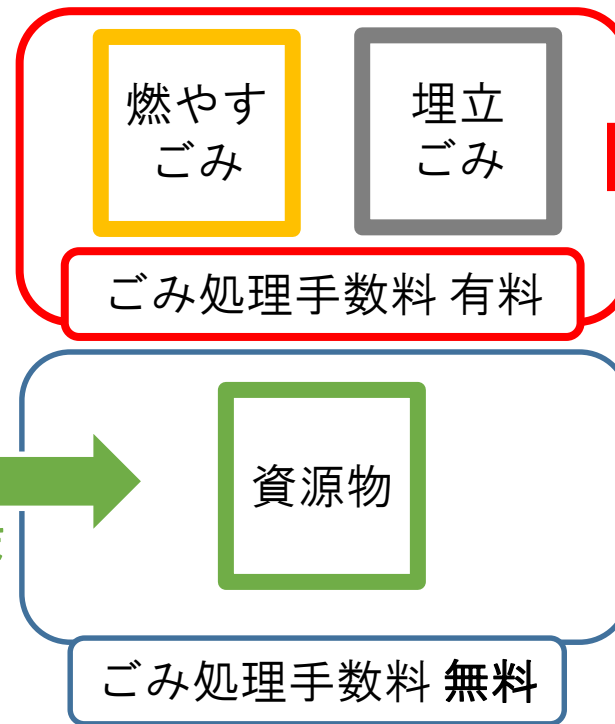


有料化

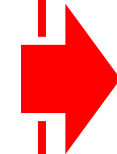


H22~

- 有料化の対象 -



無料のまま



ごみ処理手数料 有料

* 収集場所へ出す

ごみ袋代 + 手数料

スーパーなどで指定袋を購入する
手数料が添加された代金を支払う

* 清掃工場へ持ち込む

持込手数料

持ち込んだごみの重さに応じた
持込手数料を納付する

2. 家庭ごみ有料化

・有料化の内容 ③ 手数料の金額

指定ごみ袋の変更

指定ごみ袋
を変更



新ごみ袋
手数料を添加



新ごみ袋 手数料の金額 袋1枚あたり

種類	袋	大きさ	手数料
燃やすごみ		45 リットル	60円
		22 リットル	25円
		10 リットル	10円
埋立ごみ		45 リットル	60円
		22 リットル	25円
		10 リットル	10円

手数料納入のながれ

市民

スーパー等
で袋を購入

手数料



小売店

袋を小売販売

手数料



問屋

袋を製造 卸売

手数料



市

市へ納入

◎ごみ袋
ロール販売
(1ロール10枚)

◎小売店
75者

◎問屋
4者
(R2年度)

◎持込の場合
持込手数料
110円/10kg
(R2年度)

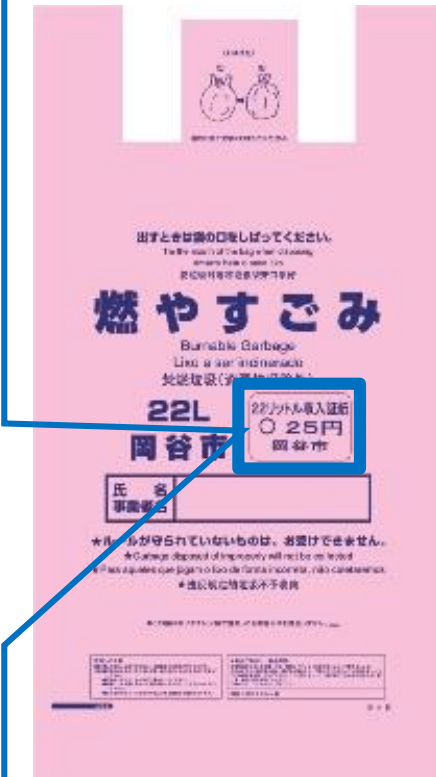
2. 家庭ごみ有料化

- 有料化の内容 ④ 手数料の金額 収入証紙 出荷承認証

10リットル収入証紙
○ 10円
岡谷市

22リットル収入証紙
○ 25円
岡谷市

45リットル収入証紙
○ 60円
岡谷市



出荷承認証が貼付されています

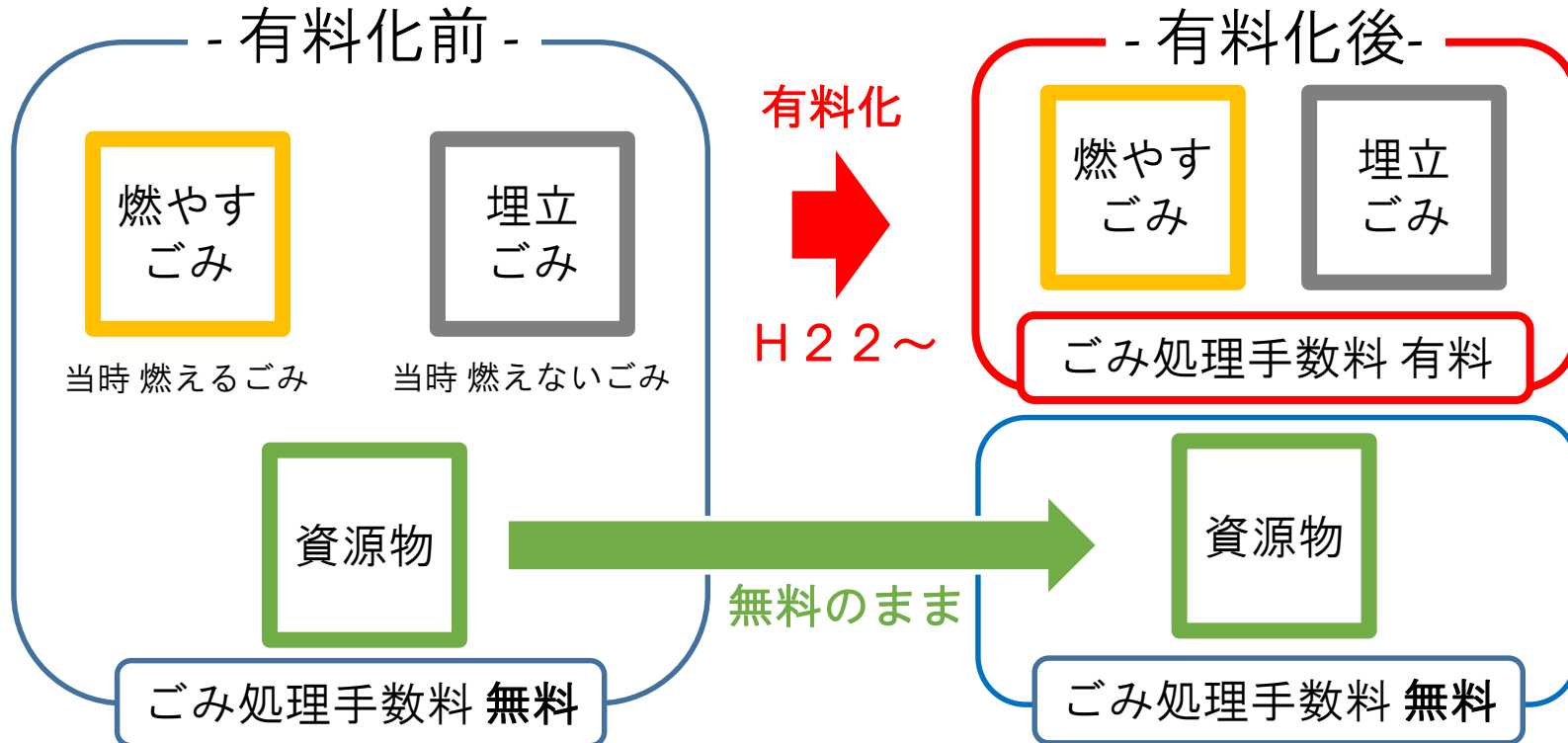


ごみ袋10枚
= 1ロール

2. 家庭ごみ有料化

- ごみ減量施策 ① ごみから資源へ

有料化により家計の支出が増える [ごみ袋+手数料]



“ごみ” から “分別”

燃やすごみ から
その他プラスチック
[有料化にあわせて新規開始]
生ごみ (台所ごみ)
[H18から分別収集開始]
埋立ごみ から
空き缶 (スチール・アルミ)
[S54から資源物回収] など

ごみ(有料) ⇒ 資源物(無料)

2. 家庭ごみ有料化

- ごみ減量施策 ② ごみから資源へ 有料化とともに取組んできた資源物

「その他プラスチック」 H22 有料化と同時に開始

「その他プラスチック」とは・・・プラスチック製容器包装（プラスチックでできた入れ物(容器)や包み(包装)）のこと。ペットボトル以外のものを「その他プラスチック」と呼ぶ。

「生ごみ」 台所ごみ H21 全市で収集開始

「家庭ごみ収集カレンダー」 生ごみ



分別

分別

有料化当時 「燃やすごみ」の中に 資源物が約40%含まれていた（古紙などの資源物も合わせて）

「家庭ごみ収集カレンダー」 その他プラスチック

3. 有料化の検証

- 検証の目的 効果ある有料化を実施するために

「P・D・C・A」 Plan(計画) Do(実行) Check(評価) Action(見直し)

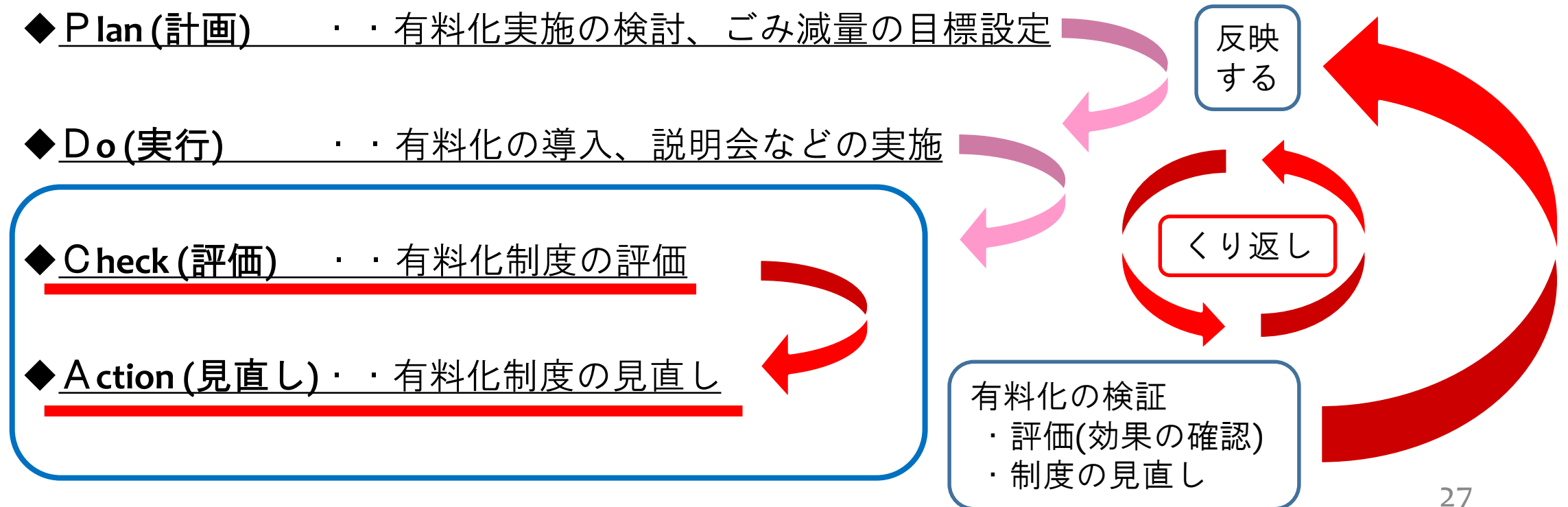
検証の考え方 評価(効果の確認)と制度の見直しを「Plan(計画)」へ反映させる

◆ Plan(計画) . . . 有料化実施の検討、ごみ減量の目標設定

◆ Do(実行) . . . 有料化の導入、説明会などの実施

◆ Check(評価) . . . 有料化制度の評価

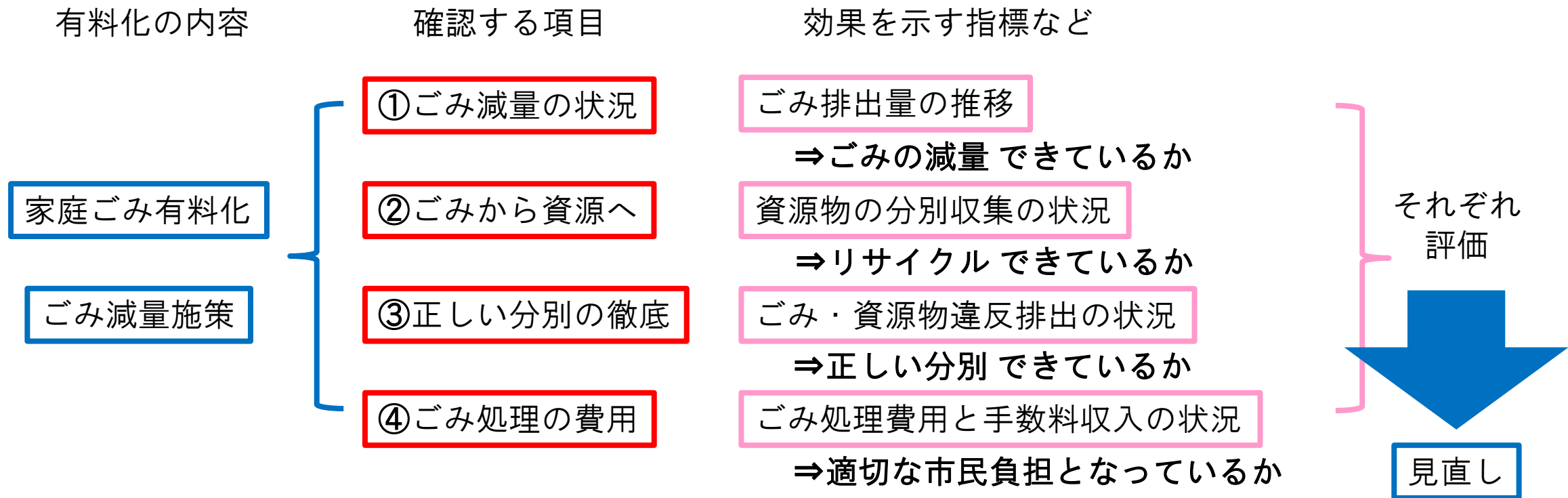
◆ Action(見直し) . . . 有料化制度の見直し



3. 有料化の検証

• 検証の方法 「Check (評価)」 から 「Action (見直し)」 へ

◆ 評価 (効果の確認)



4. 検証

①ごみ減量の状況 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

◆家庭から出る「燃やすごみ排出量」（「収集量」と「搬入量」の合計 [表]）

家庭から出る燃やすごみ排出量 H21(2009)年度～R01(2019)年度

収集量 = 委託収集で回収している量

搬入量 = 諏訪湖周クリーンセンター持込み量

収集量 = 収集場所での回収量 + 搬入量 = 焼却施設への持込み量

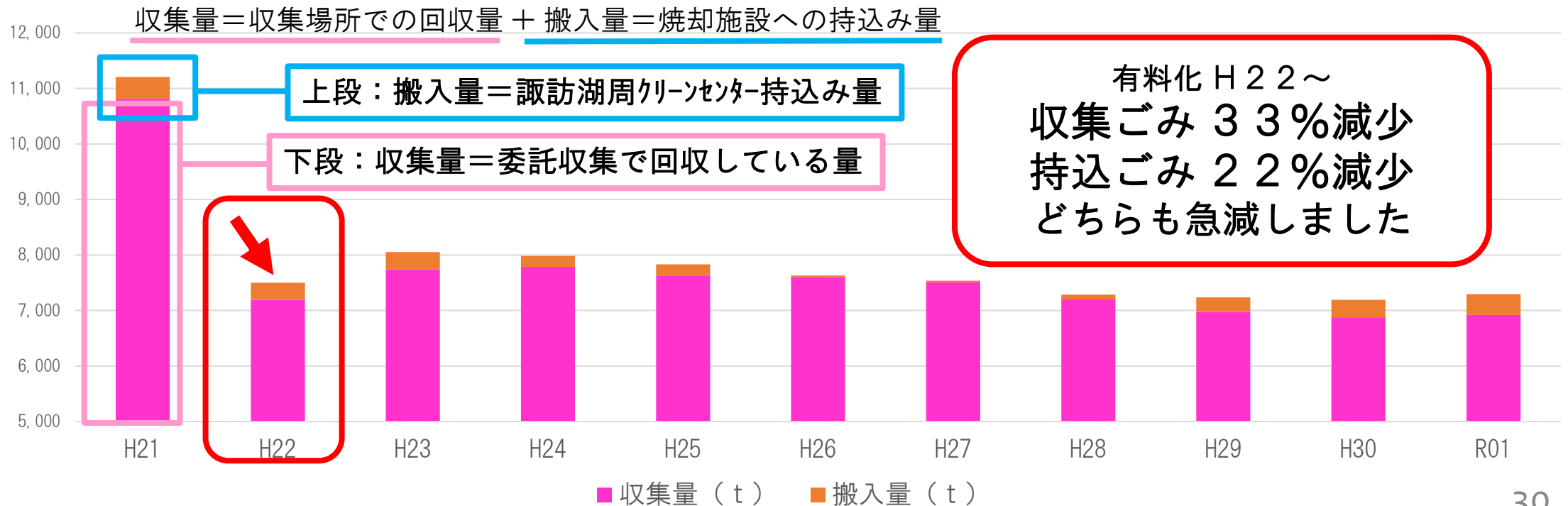
家庭系 燃やすごみ	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
収集量 (t)	10,811	7,192	7,742	7,786	7,632	7,596	7,507	7,207	6,973	6,879	6,918
前年との差	▲ 302	▲ 3,620	550	44	▲ 155	▲ 36	▲ 89	▲ 299	▲ 234	▲ 94	39
%	▲ 2.7	▲ 33.5	7.7	0.6	▲ 2.0	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 4.0	▲ 3.3	▲ 1.3	0.6
搬入量 (t)	396	308	308	197	200	34	30	80	264	314	378
前年との差	194	▲ 87	▲ 0	▲ 111	3	▲ 166	▲ 4	50	185	50	64
%	96.2	▲ 22.1	▲ 0.0	▲ 35.9	1.4	▲ 82.9	▲ 11.7	164.1	231.8	18.8	20.3
合計排出量 (t)	11,207	7,500	8,050	7,984	7,832	7,630	7,537	7,287	7,237	7,194	7,296
前年との差	▲ 108	▲ 3,707	550	▲ 66	▲ 152	▲ 202	▲ 93	▲ 250	▲ 50	▲ 44	103
%	▲ 1.0	▲ 33.1	7.3	▲ 0.8	▲ 1.9	▲ 2.6	▲ 1.2	▲ 3.3	▲ 0.7	▲ 0.6	1.4

4. 検証

①ごみ減量の状況 ②ごみ排出量の推移

◆家庭から出る「燃やすごみ排出量」（「収集量」と「搬入量」の合計〔グラフ〕）

家庭から出る燃やすごみ排出量 H21(2009)年度～R01(2019)年度



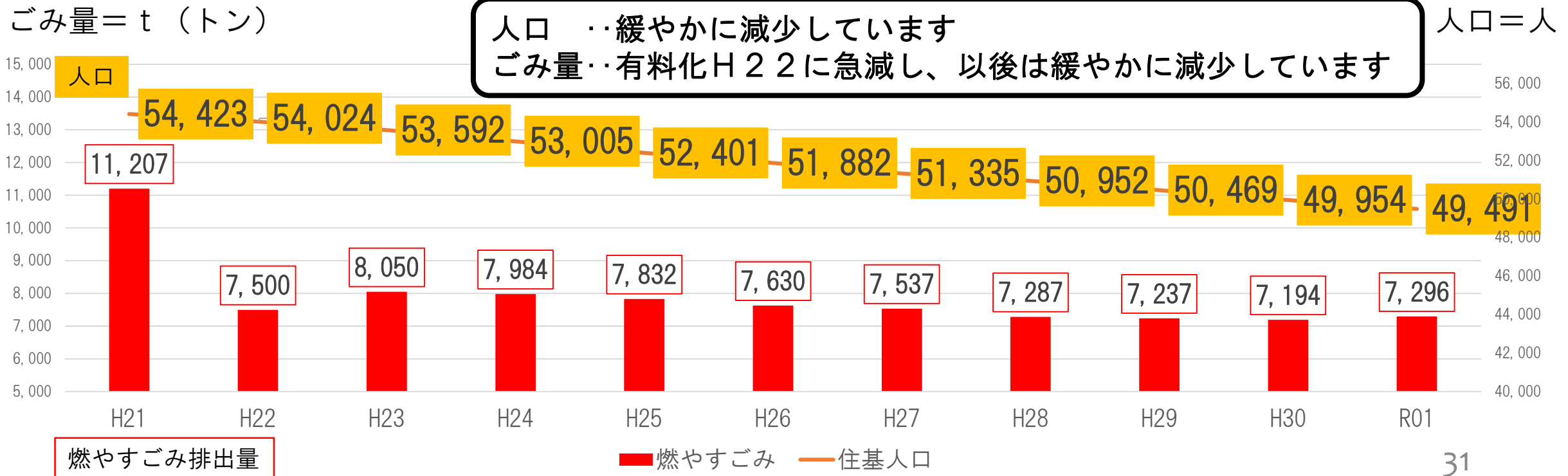
4. 検証

①ごみ減量の状況 ②ごみ排出量の推移 ③

◆家庭から出る「燃やすごみ排出量」と「人口」 人口＝住民基本台帳人口(各年10月1日現在)

家庭から出る燃やすごみ排出量と人口の推移 H21(2009)年度～R01(2019)年度

ごみ量＝t (トン)



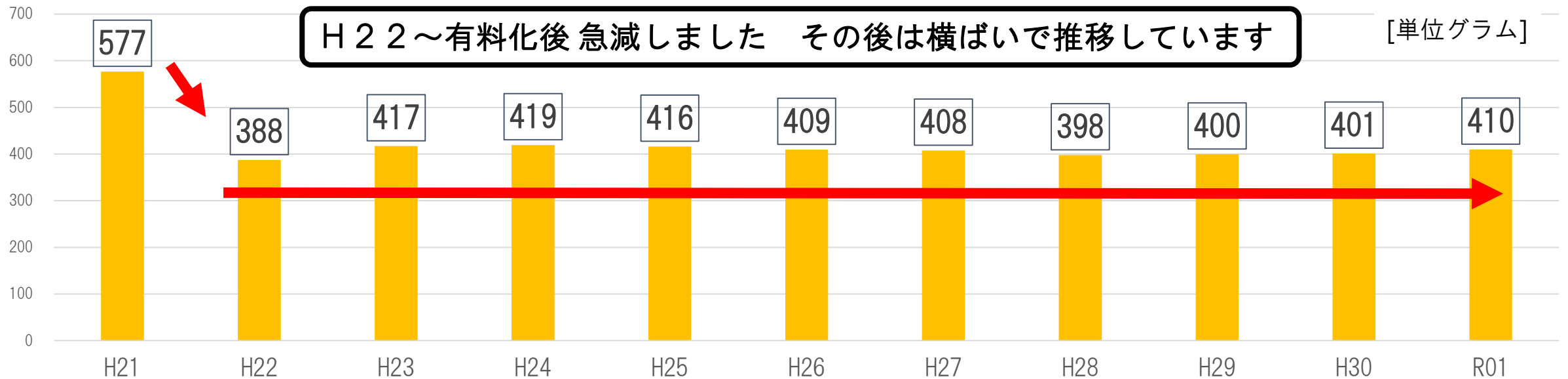
4. 検証

①ごみ減量の状況 ④ごみ排出量の推移

◆家庭から出る「1人1日あたりごみ排出量」(燃やすごみ+埋立ごみ)

家庭から出る「1人1日あたりごみ排出量」燃やすごみ+埋立ごみ H21(2009)年度~R01(2019)年度

$$1人1日あたりごみ排出量 = \frac{\text{ごみ排出量}}{\text{年間日数} \times \text{人口}}$$



4. 検証

①ごみ減量の状況 ⑥ ⑥ ごみ排出量の推移

(1) 家庭から出る「燃やすごみ」の排出量

有料化前 平成21年度
11,207 トン

3,707 トン
33%
減少

有料化による効果

- ・ ごみ量の削減 30% 達成
- ・ 有料化後の減量継続 達成

有料化直後 平成22年度
7,500 トン

直近 令和元年度
7,296 トン

有料化導入から10年間が経過 204 トン 減少

4. 検証

①ごみ減量の状況 ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

(2) 家庭から出る「埋立ごみ」の排出量

有料化前 平成21年度
252 トン

108 トン
43%
減少

有料化による効果

- ・ ごみ量の削減 40% 達成
- ・ 有料化後の減量継続 達成

有料化直後 平成22年度
144 トン

直近 令和元年度
128 トン

有料化導入から10年間が経過 16 トン 減少

4. 検証

②ごみから資源へ 資源物の分別収集の状況 ①

家庭から出る燃やすごみ排出量と「資源物※」収集量

H21(2009)年度～R01(2019)年度

[単位 トン]

品目	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
燃やすごみ	11,207	7,500	8,050	7,984	7,832	7,630	7,537	7,287	7,237	7,194	7,296
その他プラ	—	401	384	384	371	365	351	355	345	340	347
ペットボトル	96	105	100	104	105	101	98	89	103	115	120
生ごみ	138	296	287	313	281	255	225	198	176	155	149
剪定枝	14	16	34	42	4	8	47	55	116	105	93
草等	—	—	—	—	—	—	69	80	97	82	112
資源物合計	248	818	805	844	761	728	791	777	836	797	820

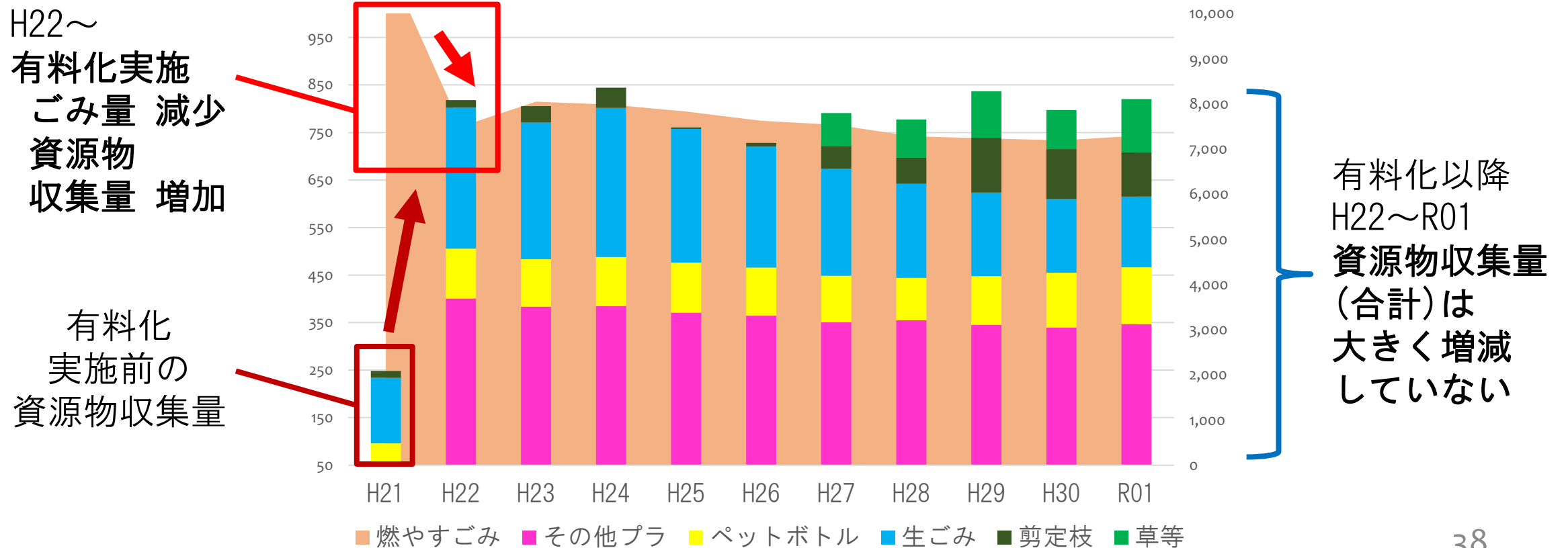
※燃やすごみに含まれる品目（古紙類・古布類を除く）

資源物

4. 検証

②ごみから資源へ 資源物の分別収集の状況 ②

燃やすごみ排出量と「資源物」収集量 H21(2009)年度～R01(2019)年度



4. 検証

③正しい分別の徹底 　ごみ・資源物違反排出の状況 ①

燃やすごみ・埋立ごみ・その他プラスチック 違反件数の推移 直近3年間の状況

◆年度別 違反件数 平成29（2017）年度～令和元（2019）年度

平成29（2017）年度 (件)

種類	燃やす	埋立	その他プラ	計
合計	1,342	1,275	2,495	5,112

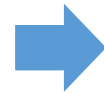
平成30（2018）年度 (件)

種類	燃やす	埋立	その他プラ	計
合計	1,136	581	2,671	4,388

令和元（2019）年度 (件)

種類	燃やす	埋立	その他プラ	計
合計	877	504	2,285	3,666

平成29年度
合計5,112件



平成30年度
合計4,388件



令和元年度
合計3,666件

724件減少

722件減少

*違反件数・・・収集場所で「違反ごみ」としてシール貼付されたごみ袋の件数

*直近3年間・・・諏訪湖周クリーンセンター本格稼動（平成28(2016)年12月）以降の状況

4. 検証

③正しい分別の徹底 ごみ・資源物違反排出の状況 ②

燃やすごみ・埋立ごみ・その他プラスチック 違反件数の推移 直近3年間の状況

◆品目別 違反件数 平成29（2017）年度～令和元（2019）年度

燃やすごみ 年間件数の比較

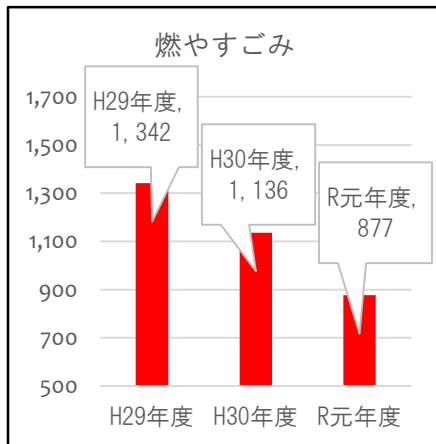
年度	H29年度	H30年度	R元年度
件数	1,342	1,136	877
前年度比	*	▲ 206	▲ 259

埋立ごみ 年間件数の比較

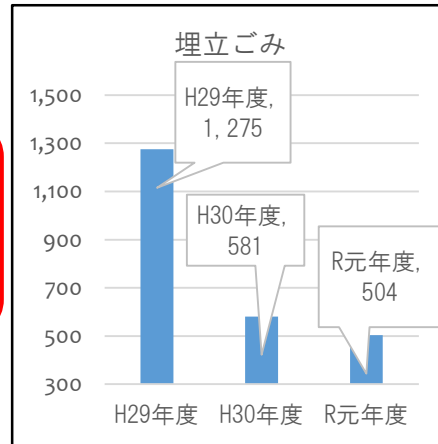
年度	H29年度	H30年度	R元年度
件数	1,275	581	504
前年度比	*	▲ 694	▲ 77

その他プラスチック 年間件数の比較

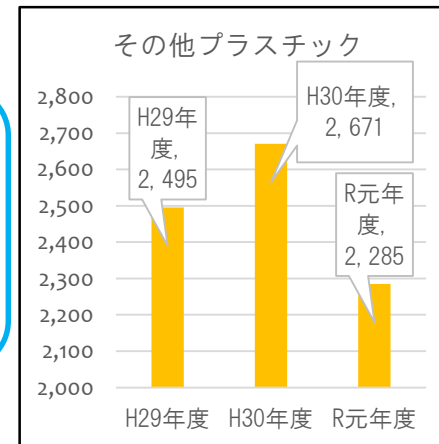
年度	H29年度	H30年度	R元年度
件数	2,495	2,671	2,285
前年度比	*	176	▲ 386



燃やすごみ
年々減少
しています



埋立ごみ
H30年度に
急減して
います



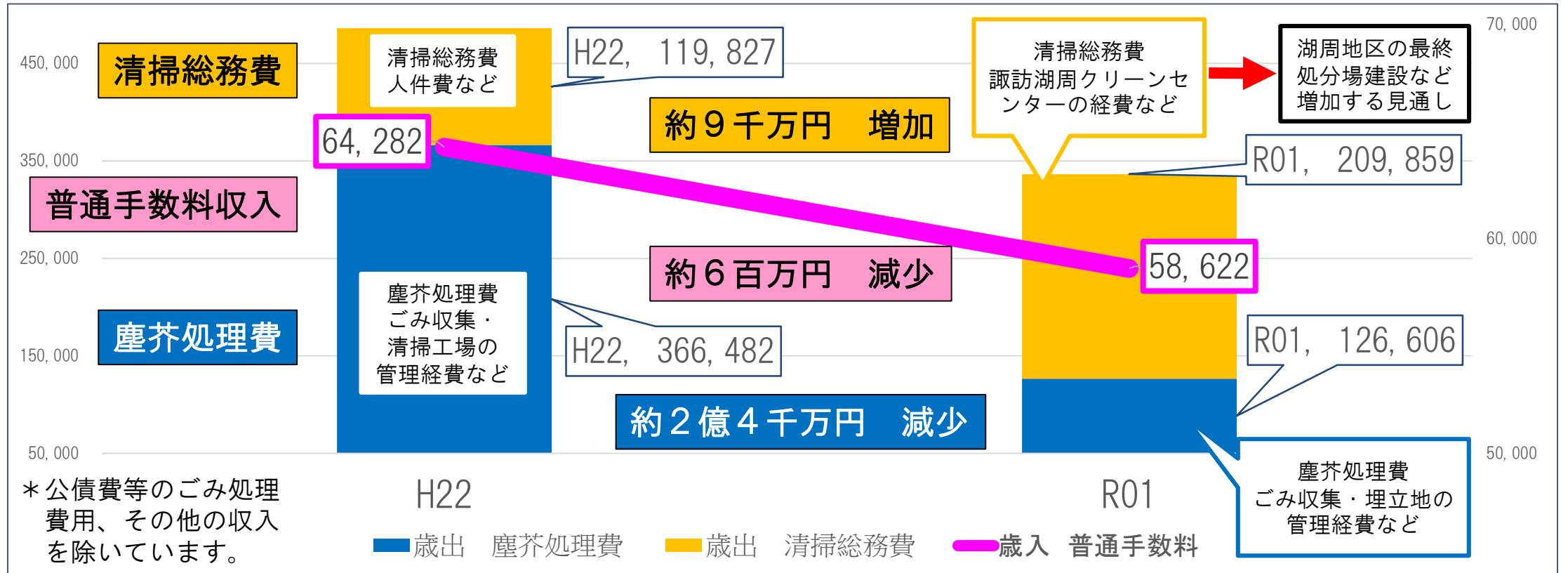
その他プラ
年によって
ばらつきが
あります

4. 検証

普通手数料 = ごみ袋代金に添加された手数料

④ごみ処理の費用 ごみ処理費用*と手数料収入の状況 ①

ごみ処理費用（清掃総務費・塵芥処理費）と普通手数料収入 平成22年度・令和元年度 [単位千円]

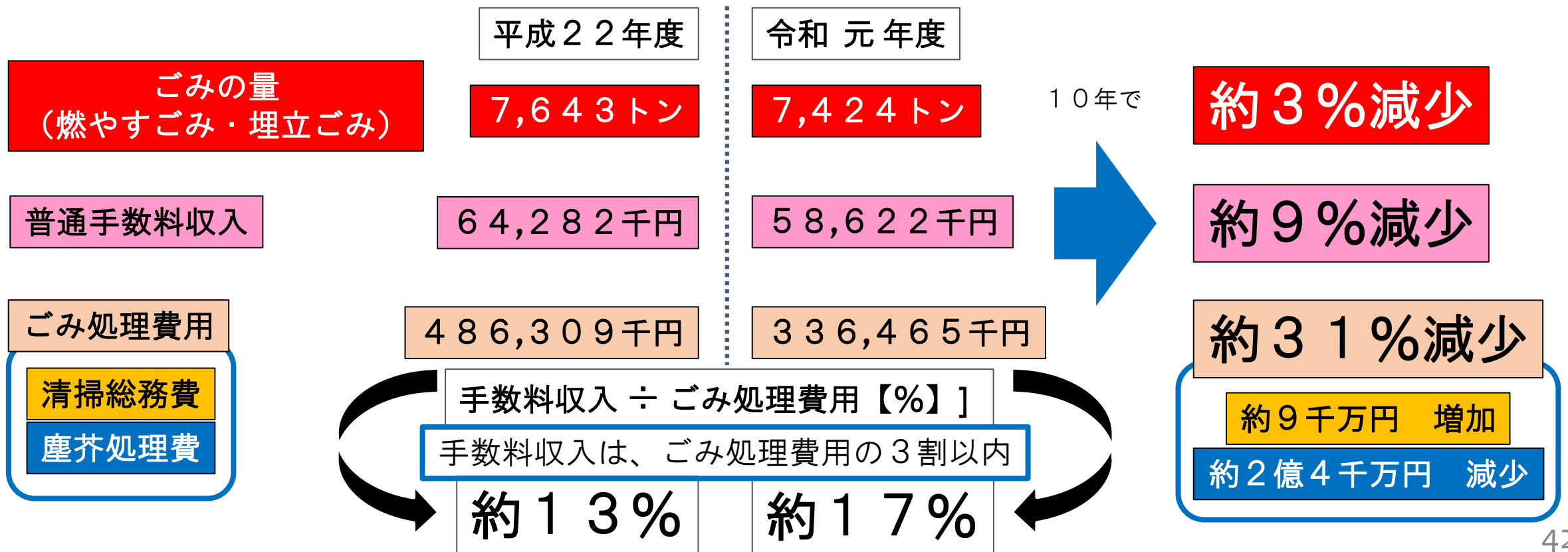


4. 検証

普通手数料＝ごみ袋代金に添加された手数料

④ごみ処理の費用 ごみ処理費用と手数料収入の状況 ②

ごみ処理費用（清掃総務費・塵芥処理費）と普通手数料収入 平成22年度・令和元年度



4. まとめ

検証項目

①ごみ減量の状況

ごみ排出量の推移

②ごみから資源へ

資源物の分別の徹底

③正しい分別の徹底

ごみ・資源物違反排出の状況

④ごみ処理の費用

ごみ処理費用と手数料収入の状況

検証結果

⇒ 燃やすごみ・埋立ごみ 減量達成と継続

減量の効果 ⇒ 有料化を継続する

⇒ 資源物収集量は安定に推移している

資源物分別収集を継続実施する

⇒ 総体的に違反件数は減少している

わかりやすい説明を継続する

⇒ 手数料はごみ処理費用の3割以内

バランスのとれた手数料負担を継続

4. まとめ

循環型社会を目指して ごみ減量 3Rの推進など

